

小倉台小学校区における通学区域制度の弾力的運用について

1 今後の開発戸数の見込み

	R6	R7	R8	R9	R10	合計
小倉台小学校	0	0	401	0	0	401

2 推計結果（速報値） ※推計結果は速報値のため、今後、多少数値が変わる場合があります。

＜小倉台小学校＞ 保有普通教室数：45教室（44教室＋1教室（小スペース））

		R5 (現況)	R6	R7	R8 (ピーク)	R9	R10	R11	R12	R13	R14
児童数		1,132	1,196	1,135	1,242	1,193	1,152	1,091	1,070	1,060	1,058
学級数	通常学級										
	1年生	5	6	5	6	6	5	5	6	6	6
	2年生	6	6	6	6	6	6	5	5	6	6
	3年生	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6
	4年生	5	7	6	6	6	6	6	6	5	5
	5年生	5	6	7	7	6	6	6	6	6	5
	6年生	5	6	6	7	7	6	6	6	6	6
	合計	32	37	36	38	37	35	34	34	34	34
特別支援学級	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
合計	39	44	43	45	44	42	41	41	41	41	
過不足普通教室数		6	1	2	0	1	3	4	4	4	4

※令和6年度以降の推計については、特別支援学級を含む全ての児童生徒を通常学級とみなして推計。

特別支援学級は令和5年度の学級数を参考に記載。

3 今後の対応策

小倉台小学校については、真名井の湯の跡地に共同住宅の建設が予定されていることから令和8年度以降の児童数が増加することが予測されます。このことから児童数増加の緩和の対応として隣接する木刈小学校（進学先は木刈中学校）への学区外就学を柔軟に認める通学区域制度の弾力的運用を実施したいと考えています。

4 小倉台小学校区における隣接する木刈小学校と連携した通学区域制度の弾力的運用（案）

(1) 対象地区

小倉台小学校区の全部の区域

(2) 対象地区の指定校

小倉台小学校（進学先は木刈中学校）

(3) 学区外就学の対象校

木刈小学校

(4) 運用開始日

令和6年4月1日から